

## 第4回 ライフィニティ石打運営推進会議 議事録

開催日時	2026年3月18日(水) 13:30~14:30
開催場所	ライフィニティ石打 相談室
参加者	富所、宮澤、田村、常山、内田、桑原(たもんの郷)、川永(つむぐ)、須藤(塩沢地域包括)、上一日市区長、民生委員、家族代表、井上 進行: 富所 書記: 宮澤

### 1. 看多機の現状報告

(ア) 昨年9月より29名の最大登録数となり、3月まで29名を維持している。1月より「泊り」の利用者が多く、1月~2月は1日平均6人を超えた。平均介護度は2.76ほどになっている。入院となり、利用休止となる方が多く出ている。

### 2. 利用者現状報告

(ア) インシデント・アクシデント報告

別紙参照

(イ) 事業所内の研修報告

別紙資料を参照

外出の機会が少なかった。看多機の事業形態は地域とのつながりを重要視されている。次年度の反省として地域とのつながりをより密にしていきたい。

### 3. 介護職員からの報告

利用者個人ごとにADLなどに差がある。より利用者個人に適したケアを考えながら支援していきたい。

ボランティアの受け入れを増やすなど、地域とつながる機会を増やしていきたい。

→どのようなボランティアがあると良いか？

ちょっとしたレクやちょっとした業務(風呂後に髪を乾かす)ができるとよいと思っている。

### 4. 訪問看護ステーション報告

2月時点で利用者57名になった。介護保険が49名、医療保険が9名。湯沢町からリハビリの依頼が多い。津南町からの依頼が増加の傾向あり。看取りを行うケースもあった。塩沢や石打の方でお困りの方がいらっしゃったらご相談いただけたらと思う。

### 5. 今年度の評価

別紙参照

### 6. 参加者からの意見要望

(ア) 利用者家族代表 様

オープン時からお世話になっている。お風呂も入れていなかったところからここまで良くして頂いている。

(イ) 民生委員 様

職員の質を上げるともう少し強くなるのかなと思った。地域でも知名度あがっていると思う。齋藤記念病院のからみで知っている方も多いと思う。

(ウ) 上一日市区長 様

ボランティアの例を挙げてもらおうと働きかけやすいかもしれませんが。徘徊など近くに川があるので注意。

(エ) たもんの郷 桑原 様

地域が変わると雰囲気が変わる。移転の際は地域での再認知が大変だった。

(オ) 塩沢地域包括 須藤 様

施設カ所などは監査時に指摘されやすい部分であるため、根拠となる資料を事前に用意しておくが良い。例えば、施設が行動抑制になり得る場合、ケアプランにどのように評価して書いているかなど。塩沢で事例検討会を行っている。ケアマネだけに限らず、介護士でも参加できるので是非来てください。

(カ) つむぐ 川永 様

一時期は利用者が減っていたが、29名が続いている。地域資源が少なく、限られている中で、石打地域の介護資源として根を張っていただけるとよい。

**【次回 開催日時等】**

<日時> 2026年6月17日13時30分～予定

<会場> 看護小規模多機能ライフニティ石打